

体育館内部の

主な設備

照明の自動化(パターン化)
 大・小体育室ともに、照明は、使用する面と内容によって、明るさの基準をあらかじめ設定しておけば、スイッチ一つで点灯操作ができます。
 また、昼間は自動センサーが働き、基準照度に合わせた明るさに調整され、電気料金の節約になります。



大体育室

大体育室
 文化的な利用ができるよう、ステージや放送設備、音響設備、また舞台照明設備を設置しており、事務室から管理ができるモニターカメラを設置しています。
 天井は、浮き上がるようなデザインのシェル構造でダイナミックな面と柔らかなさの両面を表現しています。
 床面積は2,018平方メートルで、バレーボールをはじめ、バスケットボール、バドミントン、卓球、テニス等に利用できます。



小体育室

小体育室
 床面積680平方メートルで、大体育室と同様の種目に利用できます。
 1階と2階にガラス越しで競技が見えるようになっています。



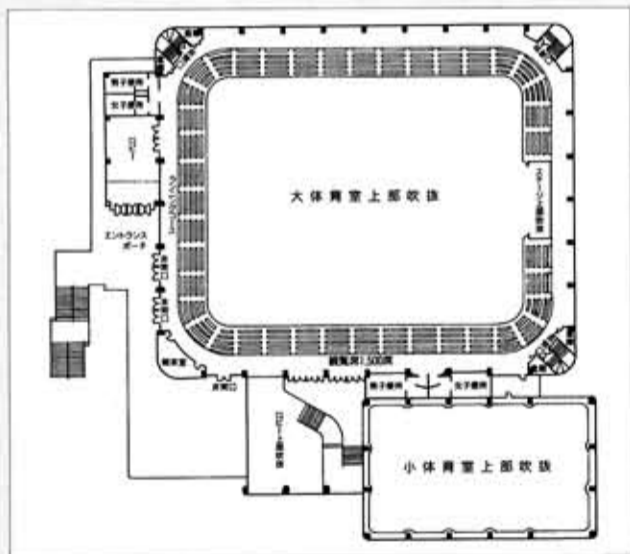
多目的ステージ



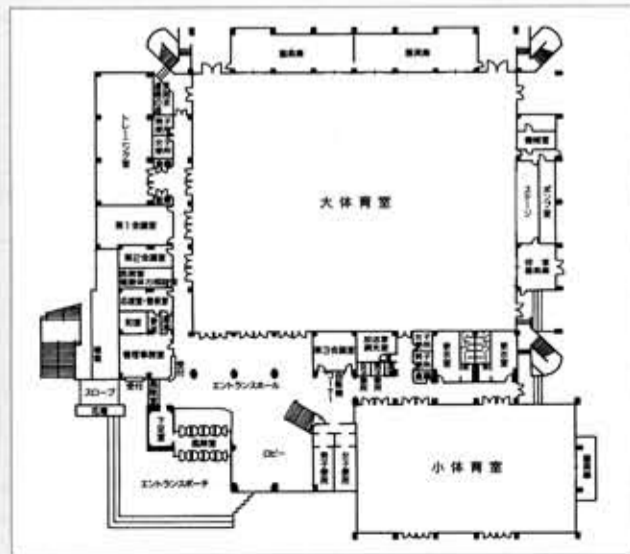
照明設備

向日市民体育館 竣工記念

向日市民体育館見取り図



2階



1階



陶板



ロビー



スタンドガラス

陶板・スタンドガラスのロー
 談話、コミュニティーの場としてのロビーは、622平方メートルの広さがあります。
 鉄、コンクリート、ガラスの材料がもつ自然の力強さと、それを柔らかなる曲線で構成された空間に長岡京を模した陶板が壁にはめこまれており、王城を表現したスタンドガラスが反対側の壁にはさまこまれています。こうして、手づくりの広場や空間を出しています。



観覧席

観覧席
 観覧者は外階段からはいってもらおうようにして、競技者から分離しています。また、2階出入口にもホールを設け、一斉に退場される場合の混雑を防止するため4隅に出口を設けました。
 観覧席の固定席は1,500席、立見を含めると約2,000人が観覧できます。



ランニングコース

ランニングコース
 2階観覧席後部をランニングコースとして利用できるよう、通路幅を2・3メートル取っています。コースは一周200メートルあります。